

No.1 子猫を飼い始める!!

子猫の住

自分で健康管理ができる人間とは違い、猫は自分で生活の環境を整えたり、ストレスを自分で避けたりすることはできません。すべて、**飼い主さん次第**ということになります。

ここでは、あなたが**猫と末永く健康に暮らすためのコツ**、つまり猫の世話をするとき**に注意したほうが良いポイント**をまとめました。不安

に思う点や疑問があれば、信頼できる動物病院を探して相談しましょう。

※猫の寿命は人間の約5分の1で、「猫の1年」は「人間の5年」に相当すると言われています。ここでは、0~6カ月齢の猫を子猫と呼ぶこととして(人間の年齢に換算すると、およそ0~12歳齢に相当)、そこから1歳齢で体の成長が完了するまでの間に注意すべきポイントをまとめました。

POINT 1

社会化の時期としつけ

猫は生後2~7週齢が「社会化期」と言われており、この時期の経験がその後の性格に大きく影響すると言われています。ほかの動物や家族以外の人とも楽しくふれあうことで、人見知りをしなくなったり、多くの経験を積み重ねることで、成長してからも怖いものや嫌いなものが少ない、落ち着いた性格に育つよう、この時期の子猫の過ごし方にはとくに注意しましょう。

●遊び

猫にはもともと狩りをする本能があります。それを満足させられるよう、猫じゃらし、ボール、音が出る物など、その子の好みに合った適切なおもちゃを用意して、たくさん遊んであげましょう。また、「おいで」や「お座り」を教えてみても良いかもしれません。遊ぶときには、咬んでも良いおもちゃを用意して、人の手や足は咬ませないように慣らしましょう。また、猫は3次元的に遊ぶのが得意です。周囲を見下ろすことができるような、登ったり、休憩できたりするエリアを用意してあげるのも良いことです(転落には注意してくださいね)。



●爪とぎ

猫の習性として、爪とぎは欠かせません。爪をといでも良い場所がないと、家具や壁でといてしまうことがあります。その子が好きな素材でできた爪とぎを複数個用意してあげましょう(ダンボール、木、カーペット、麻、コルク製など。大きさが猫にとって重要なこともあります)。



●キャリーケース

動物病院の診察でも使える、複数の出入り口(前と後、前と上など)のあるプラスチック製のものが良いでしょう。また、キャリーケースに入って車や電車での移動、動物病院へ行くことに慣れさせましょう。普段から部屋の隅に置いておいたり、なかに好きなタオルなどを入れて、キャリーケースに慣れさせると良いでしょう。動物病院へ行くときなど、キャリーケースを覆う布を用意しておく、目隠しになりますので、待合室でも落ち着いて過ごせるようになります。

●先住猫がいたら

すでに猫を飼っていて、新しく子猫を飼い始めるときは、子猫はまずケージのなかで飼います。しばらく様子を見て、お互い攻撃をしかけないとわかってからケージから出すようにしましょう。また、新しく飼う子猫はもちろん、先住猫も健康診断のために動物病院へ連れていきましょう。繁殖の予定がないなら、不妊・去勢手術も受けさせておきましょう。



担当医から一言

その子に合った接し方で、楽しく育てよう!



●グルーミング

目、鼻、口、耳、足など、体の隅々までよく触ってあげること、「触られると気持ちいい」ということを教えましょう。そうすることで、動物病院での診察や歯のケアを嫌がらない猫に育てることができるようでしょう。

●歯のケア

猫は3~4週齢で乳歯が生え、6カ月齢ですべての歯が永久歯に生え替わります。この頃から、歯磨きなどのデンタルケアを行う習慣をつけておきましょう。歯のケアを怠ると、人間同様、歯石がついて歯肉炎や歯槽膿漏を起こすことになります。まずは口の周りを触られることに慣れさせ、嫌がらなくなったら口を開けて、指で歯をなでる訓練を始めましょう。歯磨きは歯垢の付きやすい奥歯から。通常、2~3歳齢から歯石が付き始めます。



●室内飼いをおすすめします

猫はできるだけ室内のみで飼育しましょう。屋外には、交通事故、迷子、ほかの猫とのケンカ、感染猫やノミ・マダニに触れることによる病気の感染、知らない人間からの虐待など、猫にとっての危険が多いのです。ペットフード協会による「平成25年全国犬猫飼育実態調査」(インターネットでランダムに選ばれた回答者への調査)では、71.6%の家庭で猫は室内飼いのみで飼育されています。また、その平均寿命は、外に出ない猫が15.99歳齢であるのに対し、外に出る猫では13.16歳齢となっています。

REFERENCES / 参考図書

AAFP-AAHA Feline Life Stage Guidelines
『ねこのお医者さん』石田卓夫・著(講談社)
『猫と暮らすと幸せになる77の理由』石田卓夫・監修(Collar出版)
C. A. Tony Buffington, What Cat Owners Can Learn About Captivity, NAVC Clinician's Brief, 2011.

POINT 2

トイレのこと

トイレ、寝る場所、食器は十分に離し、汚れた砂と排泄物はなるべく早く取り除きましょう。猫はキレイ好きなので、トイレが汚れていると嫌がって、別の場所に排泄してしまいます。また、トイレの大きさが成長に合っているかどうかを確認しましょう。

●トイレの設置場所

猫用トイレを置く場所にも注意が必要です。トイレは、猫が入りやすい場所で、かつ、静かで落ち着ける場所に置きましょう。人の出入りが多い玄関や、鏡、洗濯機の横など騒音の聞こえる場所には、置かないようにしましょう。嫌がる場所に置いたことで猫がトイレを嫌いになってしまい、膀胱炎などの病気になることもあります。

●尿の病気に注意

猫の先祖は砂漠に住んでいたと言われます。そのせいか、猫は水分をよく吸収し、しっかりと濃縮した尿をします。けれども、あまりにも尿が濃縮されすぎたり、食事の偏りや運動不足などがあると、腎臓や膀胱に石ができたり、腎臓病にかかりやすくなります。普段から、水を飲む量、トイレのチェックは忘れないようにして、尿の色や量、回数、排泄の仕方に変化がみられたら動物病院へ連れていきましょう。

●トイレの困りごと

トイレを覚えたはずなのに、ある日トイレ以外の場所にするようになったら要注意。「いまのトイレが好きではない(汚い、騒がしい、邪魔が入る、形や砂が気に入らないなど)」「男の子なら縄張りを示すマーキング」「膀胱炎など泌尿器の病気」「ストレス」など、いくつかの原因が考えられます。むやみに叱らず、理由を考えてみましょう。動物病院に相談してみるのも1つの方法です。また、粗相してしまった場所はよく掃除をして消臭剤などで臭いを消しましょう。尿の臭いが残っていると、また同じ場所で排泄してしまうことがあります。

●猫用トイレ

トイレのしつけは最初が肝心。ソワソワと床のにおいを嗅いだり、前足で床を引っかいたりし始めたらすぐトイレに入れます。嫌がって出てきても、数回繰り返して入れることで猫はトイレを覚えることができます。使い始めには、その子の排泄物を少し置いておいても効果的です。また、猫は少なくともその体の1.5倍以上の大きさで、覆いのないトイレを好みます。猫の頭数+1個以上の数のトイレを用意してあげましょう。



●トイレ砂の選び方

深さが10cmほどの箱をいくつか用意し、種類の違う砂を入れて猫に選ばせるという方法もあります。素材の違いだけでなく、粒の大きさに好みがあるときもあります。尿や便の状態をチェックすることを考えれば、色がついた砂より、白い砂のほうが便利です。また、無香料のものを選びましょう。色々な種類のトイレ砂があり、どれにも長所と短所があります。おもなトイレ砂の種類: シリカ系、鉱物系、紙系、木材系、おから・コーンスターチなど食品系 猫が一度、気に入って使い始めたら、ほかの砂に変えずずっと使い続けたほうが良いでしょう。そして、最低でも1日1度はトイレ掃除をして、新しい砂を補充しましょう。

POINT 3

危険な室内

子猫は活発に動きます。ベランダなどからの落下、バスタブへの落下、ドアに挟まれる、電気コードをかじって感電など、室内にも危険がいっぱい潜んでいます。

また、殺虫剤、ヘアスプレー、床用の洗剤やワックス(1歳齢くらいになるまでは、床は水拭きのほうが良いでしょう)、アロマオイル(ティーツリーなど)、猫に有毒な植物(ユリ、アロエ、アイビー、ポトス、チューリップなど)に触れたり、口にしないよう注意しましょう。

とくに、猫は糸やひも状のもので遊ぶことが好きですが、飲み込むと腸に絡まって手術が必要になるなど、大変なことになることにも注意しておきましょう。

●猫から遠ざけたほうが良いもの



殺虫剤やヘアスプレー



床用の洗剤やワックス



アロマオイル



ユリ



アロエ



アイビー



ポトス



チューリップ



毛糸

とくに植物は、注意したほうが良いものが多い!



REFERENCES / 参考図書

- AAFP-AAHA Feline Life Stage Guidelines
- 『ねこのお医者さん』石田卓夫・著(講談社)
- 『猫と暮らすと幸せになる77の理由』石田卓夫・監修(Collar出版)
- C. A. Tony Buffington, What Cat Owners Can Learn About Captivity, NAVC Clinician's Brief, 2011.